

8月23日 NPO福祉用具ネット主催研修会の内容

■NPO福祉用具ネットの紹介 坂田理事長

■ノーリフティングケアで最良の介護を！ 坂田理事長

■実践事例の紹介

① 介護複合施設ひばり 統括リーダー 佐藤亮氏

② 特別養護老人ホーム ひまわり園 教育担当 小早川篤氏

③ 特別養護老人ホーム 本陣園 統括リーダー 川端俊祐氏

■5年間の取り組みから見てきたこと 事務局大山

NPO福祉用具ネット主催研修会 2025.8.23 13時30分～16時10分

テーマ 働き方改革
ノーリフティングケア、一緒に取り組みませんか？

参加者 NPO福祉用具ネット会員様
県事業の取組施設様など30施設、

今日の階段を登っているのか？
介護職員が階段を登っているのか？
介護職員が階段を登っているのか？

取組に参加するきっかけ
介護職員の状況は 介護業界で腰痛持ちが多い
ひまわり園は 7割ほど腰痛者
最も多い
25% 腰痛持ち
33% 腰痛持ち
（※ひまわり園は腰痛持ちが多い施設）

5年間の取組から見てきたこと
そして、伝えたいこと
2025.8.23 NPO福祉用具ネット主催研修会
特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット
事務局

実践
委員会の議事録
や実施計画書など
で記録
実践
委員会の議事録
や実施計画書など
で記録

皆様から届いた感想の一部紹介

- ・本陣園さんの取り組み、毎年介護職を交代というのはやってみたいと思いました。
 - ・継続していくうえで大事なことは、後退することがあっても少しずつ前進していく。仲間作り、組織作りと感じました。
 - ・取り組みを始めて5年が経過しましたが、今では福祉用具のないケアは考えられません。
- 新しい職員へノーリフティングケアの知識や技術を指導する中で、指導者育成は大きな課題です。本陣園さんの発表のように、一部の職員にのみ負担をかけることなく、実践できるよう、創意工夫が必要だと考えました。
- ・法人全体として、この働きが浸透するよう、管理者である私たちが率先して実行する必要があると感じました。「続けることが大切」だけではなく、あらたなチャレンジを心がけていきたいと思います。
 - ・1期生と自分たちが行っていることはほとんど同じだが、6年間も継続してPDCAサイクルを回しているということが素晴らしいと思いました。技術研修に積極的で見習うべきところが多く、特に本陣園さんのように毎年6名スタッフを入れ替えて行っていく内容はとても参考になりました。
 - ・なかなか他施設との交流も積極的には行えていないため、北九州地域内の施設や他地域の協議会への参加なども積極的に行っていきたいと思いました。
 - ・考えること、伝達すること、実践すること、継続すること、どれも大切なのですが、不安を覚えるばかりです。
 - ・説明や体験だけでなく「気づき」を生む研修というワードにハッとするものがありました。
- 現在の研修方法と内容を見直して、今後は「気づき」を生み出せる研修にしていきたいと思います。どうやってやっていけばいいのか、ぜひ佐藤さんに聞いてみようと思います。

- ・坂田理事長の人材不足と介護業界雑誌の記事、人口減少からの業界の見方など大変、良い勉強になりました。個性がありながらも力強さも感じられる発表でした。
 - ・事務局としてきめ細かな対応により、各地域の活動につながり、事務局から地域へ主体を移していく姿も見えた感じがしました。
 - ・ノーリフティングケアが徐々に浸透しており、日本の介護もノーリフティングケアが当たり前の日が来ることが遠くないと思いました
 - ・3施設より 失敗も経験しながら毎年の評価がしっかりできており、次に繋がる効率の良い進み方だと感じました。また地域貢献の視点でも、施設外への発信等もされている施設もあり、社会福祉法人としての立場がしっかり確立されており、理想的な法人だと感じました。
 - ・小さな「必要」を大事に進めている自分には、まだ時間と労力が必要だと理解しています。
 - ・レベルの高い取り組みをされている3施設様の実践報告を聴講できたことは、おおきかったです。まずは、社内認定試験制度を来年度にかけて確立していきたいと思います。
 - ・皆様の熱い想いが個人を変え、組織を変えていったんだと思いました。本陣園の川端様より「少しずつでもいいので歩みをとめないことが大切」と言われており本当にそうだなと思いました。福岡
 - ・介護複合施設ひばりの報告について、地域への普及活動まで積極的に行われる姿に、毎回ですが頭が下がります。自施設ではまだまだ弱いポジショニングについてなど、ひばりさんの内容を参考にできればと思いました。
- ひまわり園の報告について、技術教育にかなり力を入れて取り組まれている様子で、指導力向上研修やチェッカー研修といった、指導者育成に向けての体制が確立されているところが素晴らしかったです。
- ・他施設の方の話を聞き、自身のモチベーション向上につながりました。

- ・人を育てることの大変さがある中で事業所外の地域にまで指導に出かけている・・・凄いなあと感じました。この県事業に1期生から参加をし様々な体験、学びをさせていただいていることに改めて感謝いたします。
- ・介護現場の深刻な人材不足や腰痛による離職の課題については、日々肌で感じています。その中で「健康で働きやすい環境づくり」が国や自治体レベルで推進されていること、また求人倍率が通常の2倍以上に達しているという現状を改めてデータで示していただき、現場でノーリフティングケアを広げることが一層重要であると実感しました。
- 特に印象に残ったのは、他施設での取り組みです。不良姿勢の写真を活用した改善活動や、腰痛リスク管理シートを用いた優先課題の整理、指導者を交代制で育成していく仕組みづくりなど、継続して取り組むための工夫は非常に参考になりました。今後は職場全体で共有し、誰もが実践できる体制づくりが必要だと感じました。
- ・3つの施設様の発表をお聞きして、福祉用具管理等を含めたマネジメントが徹底して行われていることが素晴らしいと思いました。
- ・委員会メンバーを固定すると、確かにそのメンバーとメンバー以外の人との温度差ができてしまうので、「メンバーは毎年変更！」という取り組みはすごいなと思いました。
- ・3施設様の発表は、本当に「すごい」の一言です。同じ2期生なのに・・・こんなにも差がついてしまう。焦る気持ちもありますが、とてもいいお話を聞かせてもらえたので、自施設で今できること、しなければいけないことをしっかり考え少しでも取り組みをすすめていきたいと思いました。